



## リサーチセミナーを開催しました

4月29日(土)に、理数科1年生を対象に「リサーチセミナー」を実施しました。佐賀大学大学院工学系研究科 循環物質化学専攻 長田聰史先生に、「天然生理活性分子の化学的変化」と題して、先生が研究されている分野の最新の研究内容、研究の意義やおもしろさ、学生・大学院生等の研究活動の事例紹介等を話していただきました。皆さんには、「リサーチセミナー」を通して課題発見の着眼点を身に付けて、今後の研究活動に生かしてほしいと思います。



### 生徒の感想

- 「新薬の開発や研究に興味があって、将来は医学部や薬学部で人体に関わるようなことを学びたいと思っていましたが、今回、薬がどのように研究・開発されているのか学ぶことができたうえ、自分の進路についての視野が一気に広がった気がします」
- 「今回のセミナーは知識が全く足りなくて、よく分からない言葉ばかりでした。でも、まだ自分の知らない化学の知識がたくさんあるということを知り、化学への探究心が今回のセミナーで強く高まりました。」
- 「私は、今まで常に「新しいもの」を考えてしまい、なかなか研究テーマが決まらないということが多くありましたが、身近なものをより良くするという考えを知り、今後の研究に生かしていきたいと感じました。」

## 化学グランプリ合同学習会・生物学オリンピック合同学習会を開催しました

理数科の2・3年生は、数学・物理・化学・生物のいずれかの科学技術・理数系コンテストを受験します。4月30日(日)に、理数科2・3年生の希望者を対象に「化学グランプリ合同学習会」と「生物学オリンピック合同学習会」を実施しました。

日本化学会 化学グランプリ・オリンピック委員会委員長 三好徳和先生と国際生物学オリンピック日本委員会 教育支援部会 主査 石井規雄先生に、それぞれのコンテストの概要や学習の方法について講義していただきました。生徒は、化学に33人(うち4人が他校生)、生物に6人が参加しました。



### 化学グランプリ合同学習会の受講者の感想

- 「化学グランプリの過去問を解いていたときは、意味が分からない状態でしたが、問題の解説を聞いて、国語の読解力の必要性を知ることができました。」
- 「酸・塩基やファンデルワールス力という言葉も知っているだけでは活用できないので、きちんと問題文も読んで理解するのが大事だと思いました。」
- 「化学は、体系的にコンパクトに覚えることでとても分かりやすくなるということを知った。」など



### 生物学オリンピック合同学習会の受講者の感想

- 「過去問を解いて、もっといろいろなことを知っておかなければいけないことや、自分で表などを書きかえて解くようにしないといけないことを学びました。」
- 「植物の種子散布にはいろいろな方法があり、それはとても計算されている構造で、それについてもっと知りたいと思った。」
- 「切片の作成の難しさや、スライドガラスの作成で手先の器用さも必要であることがわかりました。」など